

広報

よもぎた

内容

- 民生課から……………2
- 民生課・ひとこと・村長から……………3
- 総務課から……………4
- 教育委員会から……………5
- 民生課・税務課から……………6
- 談話室・行事予定……………7
- けっぱる蓬田人・戸籍の窓口……………8

No.175



ぼんぼりの灯もきえて・春 本格

三月三日は、「ひなまつり」である。

「桃の節句(せつく)」とも「おひなさま」ともいい、元来は「上巳(じょうし)の節句」といったそうだ。

辞書を引くと、節句は外に「八日(じんじつ)・一月七日)端午(たんご)・五月五日)七夕(たなばた)・七月七日)重陽(ちようよう)・九月九日)があり、これを「五節句」といって書いてあり、驚いた。

鯉のぼりは男の子の節句で、おひなさまは女の子の節句と覚えていたのに、男のでも女のでもない七夕も節句で、更に名前も知らない節句があったなんて。

さて、戦後まもなくの頃とは違って、今はこの高価な「おひなさま」も村内に相当普及しているようだ。

写真は蓬田保育所のお誕生会を兼ねた「ひなまつり」で、七段飾りの人形をご覧のように見事に飾られた。

4

月

1989

# 短命村返上をめざして

## 第二回蓬田村健康づくり大会開催される

健康で長生きしたいという願いはだれもが持っています。我が村では人口の高齢化が進む中で、多くの人がいろいろな健康問題をかかえて生活しています。

このような中では、一人一人が自分の健康は自分が守るという意識のもとに健康づく

りに取り組むとともに、自分たちのできることを地域の健康づくりに役立てていくことが必要です。

そこで、行政と村民が共に地域の健康づくりに取り組むために、幼児から児童生徒、成人、老人まで各々がかかえている健康問題を出しあい、その解決方法をみつけだそうと蓬田村健康づくり大会が始まりました。

今年二回目で、去る二月二十八日に中央公民館へ村民約百六十人を集め開催されました。まず、主催者を代表して八戸村長が「村民全員が健康で長生きしてほしいと願っています。健康は自らが守るという意識を持ち、村の発展に結び付けてほしい」と挨拶をしました。

講師の上山豊日青森保健所長からは「住民参加の健康づくり会議」と題して講演があ

り、「健康は肉体的にも精神的にも安定した状態をいう。バランスのとれた食事や定期検診が大切です」と述べられました。

講演の後、それぞれの活動分野から次のような発表がされました。

- ・「村の保健行政と国保医療の状況」吉崎民生課長
- ・「保健婦活動について」工藤保健婦
- ・「保育所からみた幼児の健康問題について」蓬田保育所主任保母藤本富美子さん
- ・「学校保健からみた児童生徒の健康問題について」蓬田小学校養護教諭松野淳子先生
- ・「保健協力員の活動について」保健協力員福井けい子さん
- ・「食生活改善推進員の活動について」食生活改善推進員清水明美さん
- ・「診療活動を通してみた村

民の健康問題について」蓬田診療所長大澤保さん

・「保健所からみた蓬田村の健康問題について」青森保健所保健婦課長成田玉栄さん

午後からは分科会になり、第一分科会では「子供たちの健康問題を考えよう」、第二分科会では「各種検診の検診率を向上させるためにはどうしたらよいか」、第三分科会では「健康で長生きのために自分たちができることは何か」について学習しました。

分科会は最後に短期、長期の目標を集約しました。

- ・第一分科会  
短期「バランスの取れた食事をさせよう」  
長期「親のしつけとやり抜く子」
- ・第二分科会  
短期「検診を夫婦で受けよう」  
長期「定期的に検診を続けよう」
- ・第三分科会  
短期「塩分控えて血圧管理」  
長期「気持ち朗らかに体動かしボケ予防」

### 紹介

工藤保健婦

発表から

▼総合検診を受けなかった理由調査

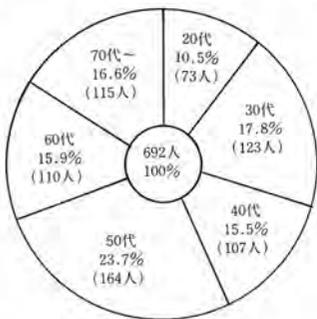
●調査期間

昭和六十三年六月～九月

●調査対象

六百九十二人  
(総世帯数千三十九戸のうち調査不可四十一戸、うち未受診世帯六百三十九戸、面接者六百九十二人)

### 年代構成



・五十代が約二十四％(百六十四人)を占め一番多く、ついで三十代が約十八％(百二十三)、七十代が約十七％(百十五人)と続いている。

理由



四十代、五十代が七割近くを占める。

特に理由なし  
各年代にあまりばらつきは見られない。

忙しいから  
三十代、五十代までが、八割近くを占める。

減塩食活動

調査について

・「病院を利用するの」が約二十一・四％（百四十八人）と最も多い。また、特に理由なしが約二十％（百三十六人）と次に多かった。

主なる理由の

年代別割合

- ・体に自身があるから
- ・二十代、五十代までの働きざかりの人が圧倒的に多い。
- ・病院を利用してはいるから
- ・五十代以上がほとんどである。
- ・気がのらないから
- ・各年代にあまりばらつきは見られない。
- ・職場で受けているから
- ・二十代、五十代までの働きざかりの人がほとんどである。
- ・仕事優先だから



〇目的

昭和六十年年度から開始した村の減塩食活動（食生活改善運動）の普及状況を知る。

〇期間

昭和六十三年六月～九月

〇調査世帯

九百九十八戸

（対象総世帯数千三十九戸のうち、調査不可四十一戸）

〇調査内容

3, 2, 1で知っていると答えた人で、生活の中にとり入れているか…

ア、とり入れている	122世帯	15%
イ、とり入れている	656世帯	84%
ウ、未記入	6世帯	1%
計	784世帯	100%

◎ 8割の世帯で、現在減塩食活動にとりくんでいることがわかった。

1, 減塩食活動を知っているか…

ア、知らない	173世帯	17%
イ、知っている	784世帯	79%
ウ、調査不可	41世帯	4%
計	998世帯	100%

◎約8割近くが知っていた。

キ、地区の講習会へ参加



ひとこと・村長から

昭和天皇と私

《昭和二十二年八月》

昭和天皇は東北巡幸の折、青森県南津軽郡浪岡町立浪岡小学校における南津軽郡全域のワラ工芸品競技会（機械ムシロ織、機械縄ない競争）に御出ましになられ、中折帽子を振り、参加者及び参観者に挨拶をされた。

正に、天皇我等と共にという事だと感激した。

《昭和二十七年冬》

蓬田村から初めて宮城奉仕隊（隊長坂本豊水他一行三十名）に参加を許可され、東北線廻りで上京し靖国会館に宿泊。米持参、地下足袋、巻脚絆。帰りは、奥羽線経由で帰

村。

宮中で両陛下にお会いした。他県奉仕団と共に万歳三唱でお迎えした。

奉仕作業は宮城内の清掃など。仲々東京に出られない時代で見えるものすべて珍しく、タクシー、銭湯が復活した頃である。また、上野公園の西郷銅像の所でカラーテレビを初めて見た。（色彩はよくなかった）

宮内庁より恩賜のタバコを頂いた。生涯忘れられない思い出となっている。

《昭和三十八年五月》

農業改良普及員として平内地区普及所勤務の時、全国植樹祭（平内町夜越山）があり、昭和天皇がお出でになられた。私は給食（リンゴジュースとサンドイッチ）係として任務についた。

本県では田植えの始まっている頃。盛大な行事であり、その時植えた甲地赤松は夜越山で間伐を終えスクスクと育っている。

道路整備の為、当日山館文作氏（瀬辺地）も勤務についていた。

この頃から我々の生活もグンと向上したと思う。

（六百五十六世帯の解答）

# ストップ・ザ・交通事故

## 交通安全村民大会開催される



昭和六十三年度交通安全村民大会が、三月八日（水）玉松公民館において、小学六年生・中学一年生・交通安全母の会・お年寄り二百二十名の参加を得て開催されました。

これは、新入学児童及び高齢者の事故防止と農繁期を控えた踏切事故防止を重点目標とし、広く村民に交通安全思想・交通道徳を普及徹底し、正しい交通ルールとマナーを実践することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としたものです。

当日は、参加者全員での交通事故犠牲者に対する黙とうから始まりました。

大会長（八戸村長）から、「車社会に対する交通マナー、ルールを守り、交通事故のない村にしてほしい。そのためにも、家族ぐるみ、村ぐるみの運動をしましょう。」と挨拶がありました。

この後、蟹田警察署地主交

通係長より「昭和六十三年度の蟹田警察署管内交通事故概況」の説明がありました。

引き続き、村交通安全指導隊長藤田修一さんが村民を代表して「シートベルトを着用する」「子どもと老人を交通事故から守る」「暴走飲酒運転をなくする」「踏切事故をなくする」「道路へのとび出しをなくする」と宣言しました。

また、村交通安全団長高田祥栄君は「体を鍛え心を磨きます」「みずから進んで交通の決まりを守ります」「皆で交通の決まりを守るよう呼びかけます」「道路で危ない遊びをしないよう呼びかけます」「交通安全の輪を広げていきます」と宣誓をしました。

最後に「ストップ・ザ・自転車事故」の映画を参加者全員で鑑賞し、自転車事故の恐ろしさを学びました。

# 防ごう交通事故

## 春の全国交通安全運動

4月6日～15日

圧倒的に多いのは  
子どもの飛び出し事故  
子供の事故原因で圧倒的に多いのが「飛び出し」です。

- ①一つのものに注意が向くと周りが目に入らない。
- ②子供は視野が狭く、視点が低い。
- ③大人のまねをして、横断歩道以外のところを横切ったり、信号無視をする。
- ④手を挙げさえすれば車はとまってくれると、物事を単純にしか理解しない。

### 生活にかかわる一粟



# 影絵制作・俳優も 青年達が全面協力

東津軽郡六町村の教育委員  
会が組織する東津軽郡視聴覚  
教育協議会（通称・東郡ライ  
ブラリー）が、昭和六十年代  
から制作を続けてきたビデオ  
・テープによる自作教材「昔  
あつたど」の新作がこのほど  
完成しました。

## 新作封切「せんじゅ・小太郎物語」

### 教育委員会のビデオ版「昔つこ」完成

町村が毎年昔  
話を一話ずつ  
持ちより六話  
で約一時間の  
作品集を作っ  
ているもので、  
言わば電気紙芝居。

全国コンクールで優秀賞を  
受賞していますから、すでに  
皆さんも新聞等でご存じのこ  
とだと思います。

#### 村の新作「せんじゅ ・小太郎物語」に注目をノ

わが村は過去「広瀬川のカ  
ツバ」「金光上人と阿弥陀川」  
「鯀御殿」と村にまつわる話  
を取上げてきました。

しかし、わが村特有の良い  
昔話も底がつきました。

そこで第四作目に登場した  
のが、教育委員会職員の苦肉



俳優（声優）も絵も地元調  
達で手作りで行こなうことに  
なりました。

「あんじゅとずしおう」の  
話は、元来、さまざまな形で  
全国の色々な地方に伝わって  
いるものですから、蓬田城に  
まつわる話として今回作り変  
えられたのです。

教育委員会の社会教育課が、  
中央公民館に申し込めば無料  
で借りられます。

最初の絵は  
あの伊奈かつべいさん！  
さて、いつの世も予算の少  
ないのが教育委員会というこ  
ろで、映画会社に制作を頼  
めるような予算はとてもあり  
ません。

制作費を安くあげようと苦  
心します。

そのぶん、手作りの味が存  
分に味わえるものとなるはず  
です。

最初の年は、教育委員会の  
職員が俳優をやり、絵の製作  
はタレントの伊奈かつべいさ  
んにお願いしましたが、地元  
の力を借りようということに  
なりました。

苦心の結晶なのです！  
そこで、引き受けてくれた  
のが村の青年会でした。

彼等は、影絵で制作を始め  
ました。

俳優、影絵の製作はもちろ  
ん、影絵をあやつるのも青年  
会の会員です。

この三年間に、仕事や結婚  
の理由でメンバーは変わりま  
したが、支障を来たささいよ  
うに絶えず仲間づくりをして  
きました。

影絵の製作、台本読みには  
いつも十二・三人が集まり、約  
三か月間かかります。

苦しい最初の頃が過ぎると、  
いつの間にか名優、迷優が次  
々と誕生し、青森放送のスタ  
ジオで緊張の録音を迎えます。



それが終わると、蟹田町で  
絵の撮影があり、これでやっ  
と青年会の作業が終了するの  
です。

#### 今年度で終了

#### 最終作に期待を！

教育委員会、協議会、担当  
者、村青年会、そして青森放  
送のディレクター等の強い結  
束の元に制作が続けられてき  
たこのビデオづくりも今年度  
の第五作目で一応終了するこ  
とになりました。

今、教育委員会ではこの最  
終作をすばらしい作品とする  
べく構想を練っています。

どうぞ、ご期待下さい！  
そして、出来上がった作品  
を可愛がってあげて下さい。  
ご家族での鑑賞をおすすめ  
します。

わたしのアイデア 8

# 健康クッキング

高根

食生活改善推進員

小野寺	キクエ	小野寺	好子
八幡	昭子	佐井	和子
八幡	富士子	八幡	れつ

## ●ライス ピザ風

●材料 (5人分)

もち米3カップ/スキムミルク 0.5カップ/マーガリン(植物性) 大さじ1/チーズ 少々/ピザソース少々/砂糖 0.5カップ/牛乳1カップ/水1カップ/卵2個/ごはん 1.5合/ピーマン1個/サラミソーセージ少々/玉ねぎ少々



「バランスのとれた栄養食は、一日三十種類以上の野菜をとり、塩分はひかえめ10g以内」とテレビや雑誌等から知ってはいても、意外と牛乳や乳製品は飲むだけで摂取量が少ないようです。

また、近頃、子供達の食べるごはんの量もグッと少なくなってきました。

そこで、ごはんと牛乳をどうしたら子供達にたくさんとってもらえるかと高根地区食生活改善推進員みんなで考えました。

思い付いたのが、「昔のガツパラもちを現代風にしたら？」でした。名付けてライス・ピザ風。

どう、現代的でしょう？早速、夏休み(昨年)を利用して母と子の料理教室を開き、

献立に採用。

大人達は口を出しても手を出さないことにしました。

作業は簡単。焼いた生地の上にピザソースをぬり、その上に切った野菜とチーズをのせる。これだけ。

子供達は役割を決めてワイワイガヤガヤ。見た目がきれいでおいしく見える工夫をしていた様です。

さて、お昼の試食です。子供達が「おいしい」の連発！うれしかった。

ライス・ピザ風の大成功と言うわけです。生地には牛乳がたっぷり入っているため、「においがイヤ」「生が苦手」な成人・中高年の方にも大評判でした。

ぜひ、一度お試し下さい。

### ガツパラもち変じて

### ライス・ピザふう

### ミルクとごはんがたっぷり



### ●つくり方

①もち米と砂糖とスキムミルクを混ぜたのに牛乳と水と卵を混ぜ合せる。

②①にごはんとマーガリンを入れる。

③②を焼く。

④③の上にピザソースをぬり、チーズ、野菜をのせ、オーブンで焼く。

### 〈応用〉

よもぎを細かくきざんで、またはきな粉を入れると香ばしくみたくもきれいです。

## 知って得する

### 税コーナー

#### 夫婦は一心同体

結婚披露宴のスピーチで、「夫婦は一心同体です。互いに助け合い、明るい家庭を……。」という言葉がよく使われます。

心をひとつにするのはよいのですが、税金の面では(お金のことについて)夫のものと妻のものは別。

例えば、夫婦で資金を出し合って家を買ったのに、全部を夫の名義で登記をすると、妻が負担した資金は妻から夫への贈与となり、贈与税がかかります。

また、夫が保険料を負担し、妻がその保険金の受取人となっている場合で生命保険契約の期間が満期となり、妻が保険金を受け取ったときは、その保険金は夫から妻への贈与とみなされて贈与税がかかります。

永い人生です。ふたりで相談し合って、豊かな生活を築きたいものです。



No.74

がんぱる

藤本 富代さん  
長科



談話室

リフレッシュは茶道で!

今回は、村内で数少ないながらも茶道を学び続けていらっしゃる長科の藤本富代さん取材しました。

藤本さんが茶道を始めたのは今から十年前のことで、家において出来る趣味を求めていたところ、長科婦人会主催の茶道教室が開催され参加したのがきっかけでした。この教室は、現在も青森市

から出張教授している遠州流の小池先生に、阿弥陀川の八戸フミさんをお願いし誕生しました。

茶道はおもしろいですかと聞きますと「一年は三百六十五日ありますが、この日だけは、普段の生活と違うもう一人の自分を発見することが出来るのです」と話してくれました。

また、「茶道を習った人は和服を着た時に、歩き方、おじぎの仕方、身のこなしが違う」ということです。

現在、藤本さんは師範の免状を持っています。茶道は心の訓練も兼ねて勉強出来ますから、初めてみたい方は一度どうぞ!

意外なことにこの方、読書の外に映画鑑賞にも趣味があり「いい映画ほど何回でも見なくなる」と、自宅のビデオデッキでの録画も百五十本を越えたそうです。

「ラスト・エンペラー、自転車泥棒が今一番の推薦映画です」「もし出来るものでしたら、映画の好きな方どうしてビデオテープの交換会が出来るといいですね」とも。いつも心のリフレッシュにとめる藤本富代さん、茶道に映画鑑賞に今日も頑張る。



ここは、高根のスクールバス停留所です。「注意!バス待合室はきれいにしましょう。こわしたりらくがきをしないこと。大人も子どももゴミはゴミ箱へ捨てましょう。」と書かれた模造紙がはってあります。自分達の使うところはきれいに、子ども達が毎週日曜日、当番を決めて清掃を実施しています。見習いたいものです。

みつけた 14

よもぎた 郵便局から

4月1日から消費税が導入されますので、はがき、手紙の料金を下記のとおり改めさせていただきます。

40円から41円へ  
60円から62円へ

村民の皆様のご理解をお願い申し上げます。●詳細な料金表は、郵便局の窓口にて用意しております。

4月分の行事予定

日	1	3	4	6	7	7	18
行事	保育所入所式 村教育懇談会	春季火防演習	幼稚園入園式	小学校入学式	中学校入学式	乳児健診(中央公民館)	
担当	蓬田保育所 学務課	総務課	蓬田幼稚園	蓬田小学校	蓬田中学校	民生課	

けつばる蓬田人 ⑦

# あなをなまかへてまらう

㈱システムメイト

代表取締役 福田 伸一 さん



取った時の感激は今でも忘れられませんが、また、人生八十年と言われる昨今ですが、不惑の歳となり人生の中間点を通過しました。

さらに今年は昭和から平成へと時代も改まりました。まさに光陰矢の如しです。

蓬田へは盆や正月に帰省しますが、職場からの解放感に浸っている時の気持ちは他所では絶対に味わえないふるさとならではのものがあります。帰った時は蓬田弁で話しますが、最近の蓬田弁は随分

きれいになって、私の使う二十年前そのままの蓬田弁では話しづらいこともありまふるさとを離れて仕事をしている、東北人は、粘り強

いとよく言われますが、蓬田人としてさらに次のことを強調したいと思います。

「けつぱり」「じよつぱり」「もつけ」の精神です。途中であきらめないけつぱり精神、安易に妥協しないじよつぱり精神、そして自己犠牲が求められる場面で発揮する少々のもつけぶり。

これらの精神は学習などで得られるものではなく、蓬田に生れ育った者の心に自然に宿って培われるものだと思います。

これからも、この精神を忘れずに頑張っていきたいと思



## めも

- ▶ 現住所 / 東京都大田区大森中2丁目9番3号 ☎03-768-4718 ▶ 生年月日 / 昭和23年10月16日
- ▶ 出身 / 郷沢 ▶ 家族構成 / 妻(真智子)・長男(裕孝、小4)・長女(和子、小2) ▶ 好きなもの / 読書(歴史、ノンフィクション)・ゴルフ
- ▶ 経歴 / ㈱東芝(昭和42年~52年9月)・㈱SDC(昭和52年10月~昭和60年12月)・㈱システムメイト設立、代表取締役となる(昭和61年2月~現在)

## お願い

けつばる蓬田人のコーナーも、お陰様で七回目を迎えました。つきましては、色々な方々を紹介できれば幸いです。親戚の方で県外・海外にいらして、けつばっている方がございましたらご紹介下さい。一報をお待ちしております。

## 戸籍の窓



人口と世帯数  
(2月28日現在)

総人口 4,241人  
男 2,049人  
女 2,192人  
世帯数 1,043世帯

### 2月受付分

お誕生おめでとうございます

木村由布子 (洋一 2女  
都志子)

ご結婚おめでとうございます

(市地) 森辺 青瀬 市瀬  
(市地) 青森 青瀬 市瀬  
(市地) 青瀬 市瀬 市瀬  
(市地) 青瀬 市瀬 市瀬  
(市地) 青瀬 市瀬 市瀬

おくやみ申し上げます

八戸 ヨ (広瀬 81歳)  
高田 兼三郎 (郷沢 72歳)